

| | |
|-------|--------------|
| 作成年月日 | 平成16年4月19日 |
| 作成部局 | 企画管理部防災局 |
| 課室名 | 国連防災世界会議担当課長 |

国連防災世界会議推進協力委員会（第2回）の開催結果について

平成16年4月8日に、国連防災世界会議の事業計画（会議の目的、事業等素案、推進体制等）地元案を協議するため、国連防災世界会議推進協力委員会（第2回）を開催しました。

今後、委員会で決定した案を基に、国連・国と協議し、会議の事業計画全般を調整してまいります。

1 国連防災世界会議推進協力委員会について

阪神・淡路大震災から10周年となる2005年1月に、兵庫県内で初めてとなる国連公式会議である「国連防災世界会議」が開催されます。

この会議では、国連加盟191ヶ国・地域の代表等が、阪神・淡路大震災をはじめとする世界の大規模災害の経験や教訓を持ち寄り、21世紀の国際防災戦略（兵庫戦略（仮称））を策定することとされており、地元においては、被災地の特性を生かした防災シンポジウム、総合防災フェア等の関連事業を被災地をあげて展開することとしております。（代表団等800名、関連事業を含め1万人規模）

そこで、地元における事業展開等を推進すべく、平成15年11月7日に防災専門家、行政（政府・兵庫県・神戸市）、地元団体等、各界の参画を得て、国連防災世界会議推進協力委員会を設置、今回、第2回の委員会を開催しました。

(1) 日 時：平成16年4月8日（木） 14：00～16：00

(2) 場 所：兵庫県公館 第1会議室

2 協議事項

今後、国連・国等と協議するための地元案を作成するため、会議内容の概略・方向性等を検討した。

(1) 事業等素案・基本日程（イメージ）（詳細は、参考資料16-9頁）

○ 会議参加者の利便や、分科会相互の連携による議論の広がりを期待して、開催日ごとにテーマを絞る。

テーマの設定にあたっては、現在、復興10年総括検証・提言事業で検討が進んでいる6分野にあわせることが適切。

○ 国連や関係機関、関係省庁等において、現在、検討されている事業の紹介。

(2) 国連防災世界会議の目的（詳細は、参考資料16-3頁）

国連による21世紀の国際防災協力指針「兵庫戦略（仮称）」の策定にあたり、阪神・淡路大震災の経験や教訓を積極的に発信するとともに、震災時に受けた世界からの支援に感謝する。

(3) 国連防災世界会議の推進体制（詳細は、参考資料16-4頁）

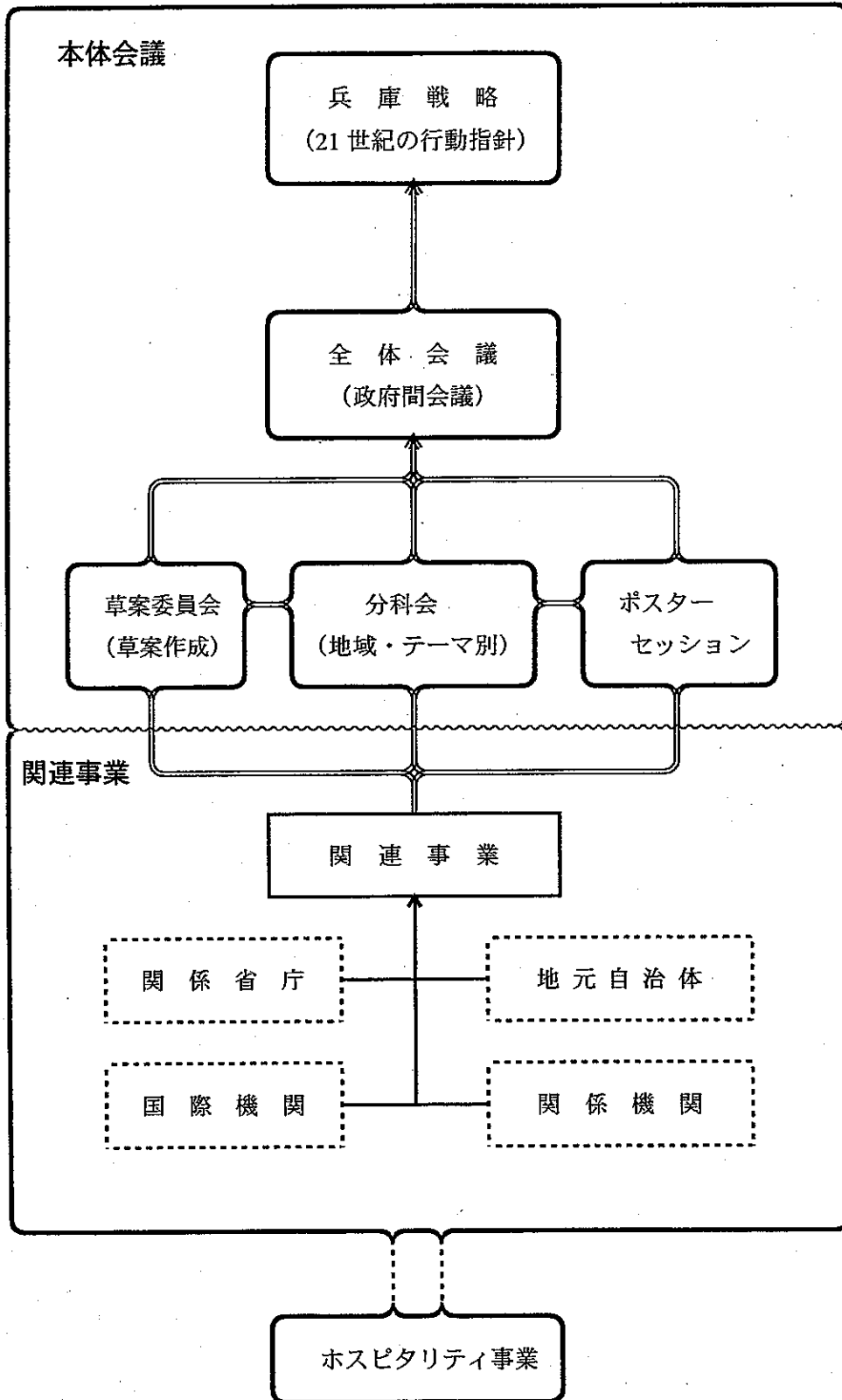
国連においては、5大陸の代表からなる「政府間準備会合ビューロー」を設置して会議内容等の調整をはじめている。また、政府においては、学識・有識者からなる「国内準備会合（委員長：伊藤滋（財）都市防災研究所会長）」や関係省庁の課長級による「企画推進会議」を設置しており、地元の「推進協力委員会」は、これらと連携し、会議の開催準備を進める。

国連防災世界会議推進協力委員会

第2回 資料

| | | |
|---|------------|----|
| 1 | 会議のスキーム | 2 |
| 2 | 会議の目的 | 3 |
| 3 | 推進体制 | 4 |
| 4 | 予 算 | 5 |
| 5 | スケジュール | 6 |
| 6 | 会場の配置状況 | 7 |
| 7 | 基本日程（イメージ） | 9 |
| 8 | 事業等素案 | 10 |
| 9 | 委員名簿 | 15 |

1 会議のスキーム



2 会議の目的

(1) 国連

21世紀の防災指針“兵庫戦略”の策定

ハネスブルグサミットの防災関係事項に係る行動指針の策定

防災に係る成功事例や教訓、課題の共有

意識高揚とそれによる施策の推進

防災情報の信頼性・有効性の向上

(2) 国

わが国が主導的な役割を担う兵庫戦略の策定

阪神・淡路大震災の教訓をもとに、世界的な防災対策に貢献

危機管理や災害対策に対するわが国の安全性のアピール

(3) 地元

創造的復興への取り組みを総括的に検証し、大震災の教訓と経験を発信

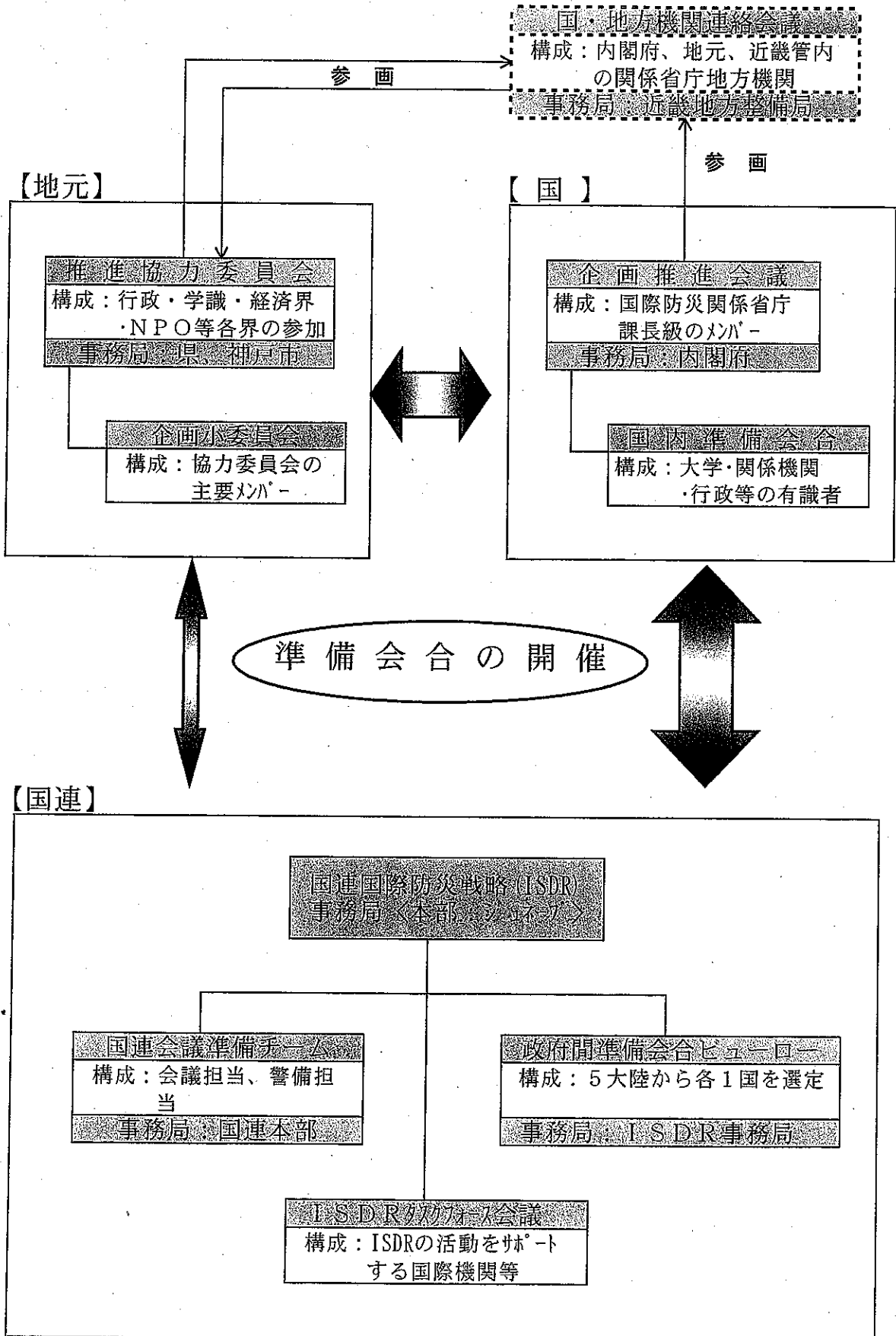
震災時に受けた世界各国等からの支援に対する感謝

阪神・淡路大震災の被災地ならではの国際貢献

国際防災・人道支援拠点の形成を促進

安全な郷土を世界にPRすることにより、商工業・観光振興を推進

3 推進体制



4 平成16年度国・県全体の経費予算

1. 会議当日経費予算

(単位：千円)

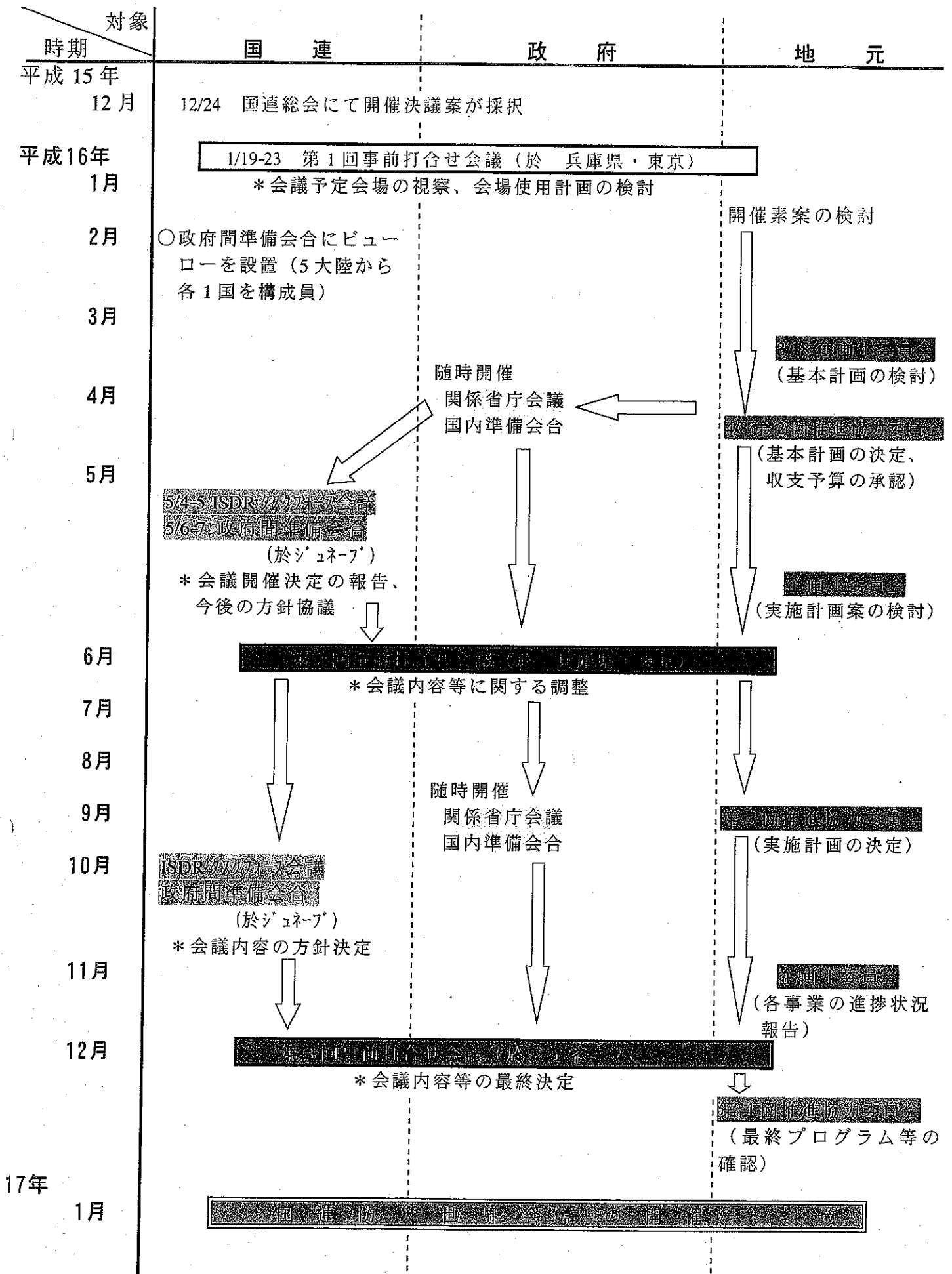
| 収 入 | | 支 出 | |
|---------------|---------|---------------|---------|
| I 国負担分 | 345,866 | I 国執行分 | 345,866 |
| II 地元負担・企業協賛分 | 339,900 | II 地元負担・企業協賛分 | 339,900 |
| 1 地元負担金 | 300,000 | 1 本体会議費 | 210,000 |
| 2 団体・企業協賛金等 | 39,900 | 2 関連事業費 | 106,900 |
| | | 3 歓迎行事開催費 | 23,000 |
| 計 | 685,766 | 計 | 685,766 |

2. 事務局経費予算

(単位：千円)

| 収 入 | | 支 出 | |
|----------|--------|-------------|--------|
| I 兵庫県負担金 | 41,917 | I 事務局経費 | 41,917 |
| 1 兵庫県負担金 | 41,917 | 1 準備会合等準備経費 | 41,917 |
| 計 | 41,917 | 計 | 41,917 |

5 今後のスケジュール（国連防災世界会議の内容決定にかかるプロセス）



神戸国際会議場

- 5F シンポジウム会場
- 4F ワークショップ会場
- 3F シンポジウム会場
- 2F シンポジウム会場
- 1F シンポジウム会場

神戸ポートピアホテル 本館

- 2F 警備関連フロア
- ロビー
- B1F 分科会場
草率委員会
記者会見室

神戸ポートピアホテル 南館

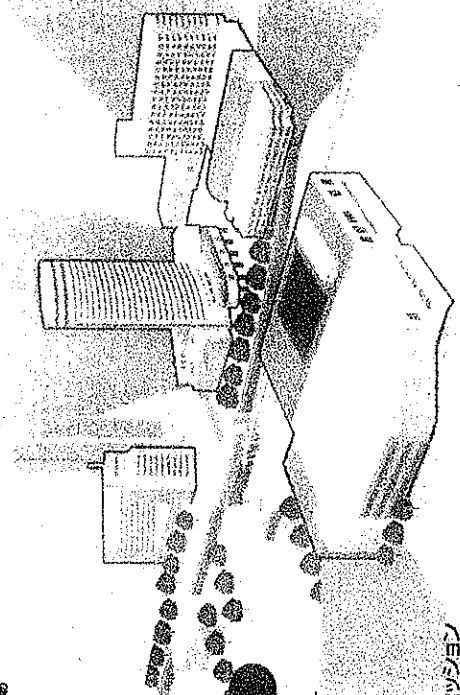
- 16F フレスターキングルーム
- 5F 事務局長室
議長団室
- 4F 通訳関連フロア
- 1F 全体会議会場
- B1F 事務局フロア
(ISDR・日本政府・
推進委員会)

神戸国際展示場 1号館 2号館

- 3F スタッフ・ボランティア控室
- 2F NGO展示
ボスターセッション
第2記者会見室
- 1F 1号館 総合防災フェア
2号館 総合防災フェア

ポートピアホール




- 1F-2F 閉会式
関連シンポジウム



7 国連防災世界会議 基本日程 (イメージ)

| | 1月17日(月) | 1月18日(火) | 1月19日(水) | 1月20日(木) | 1月21日(金) | 1月22日(土) | 1月23日(日) | |
|-----|-------------------------|---|---|---|-------------------------------------|--------------------------------|--------------------|--|
| テーマ | 追悼式典等 | ①健康福祉 ②産業雇用社会づくり | ③文化豊かな社会づくり | ④災害に強い社会づくり ⑤まちづくり | ⑥各分野横断テーマ 総括 | 国連会議戦略策定 | エクスカージョン | |
| 9時 | メモリアルウォーク | 開 会 式 | 分科会 ③文化豊かな社会づくりをテーマとする国・地元等の共同シンポ等 | 分科会 ④災害に強い社会づくりをテーマとする国・地元等の共同シンポ等 | 分科会 ⑥各分野横断的課題をテーマとする国・地元等の共同シンポ等 | 閉 会 式 | 地域観光ツアー | |
| 10時 | | | | | | | | |
| 11時 | 追悼式典 (国連会議参加者の一部も参加) | 昼 食 | 昼 食 | 昼 食 | 昼 食 | 昼 食 | | |
| 12時 | | | | | | | | |
| 13時 | 追悼式典 (国連会議参加者の一部も参加) | ①健康福祉 ②産業雇用社会づくりをテーマとする国・地元等の共同シンポ等 | 高級事務レベル会合 ・防災教育 ・文化活動 ・国際協力 等の関連事業 | ⑤まちづくりをテーマとする国・地元等の共同シンポ等 | 国・地元等による総括フォーラム | 国・地元等による総括フォーラム | スタディツアー その他関連事業 | |
| 14時 | | | | | | | | |
| 15時 | 追悼式典 (国連会議参加者の一部も参加) | 分科会 ・こころのケア ・災害医療 ・被災者支援 ・雇用対策 ・経済復興 等の関連事業 | 分科会 高級事務レベル会合 ・防災教育 ・文化活動 ・国際協力 等の関連事業 | 分科会 ・自主防災 ・防災ボランティア 耐震化 ・市街地整備 ・循環型社会 ・ライフライン 等の関連事業 | 草案委員会 ・日本の災害リスク等 その他関連事業 | 草案委員会 ・日本の災害リスク等 その他関連事業 | スタディツアー その他関連事業 | |
| 16時 | | | | | | | | |
| 17時 | 追悼式典 (国連会議参加者の一部も参加) | 分科会 ・こころのケア ・災害医療 ・被災者支援 ・雇用対策 ・経済復興 等の関連事業 | 分科会 高級事務レベル会合 ・防災教育 ・文化活動 ・国際協力 等の関連事業 | 分科会 ・自主防災 ・防災ボランティア 耐震化 ・市街地整備 ・循環型社会 ・ライフライン 等の関連事業 | 草案委員会 ・日本の災害リスク等 その他関連事業 | 草案委員会 ・日本の災害リスク等 その他関連事業 | スタディツアー その他関連事業 | |
| 18時 | | | | | | | | |
| | | 国主催レセプション | | | 地元主催レセプション | | | |

【凡例】

-  本体会議
-  関連事業
-  歓迎事業

| | |
|-----------|----------------------------------|
| その他のプログラム | 総合防災フェア（神戸国際展示場） |
| | NGO/NPO等各種団体による活動発表・展示等（神戸国際展示場） |
| | 文化プログラム・同伴者プログラム（ポートピアホテル） |

8 事業等素案

【本体会議】

| | 種 別 | 参 加 者 | 会 場 | 形 式 | 内 容 |
|-----------|-------|---|-------------------|------------------|--|
| 全 体 会 議 | 政府間会議 | 各国代表団 | ポ-トピアホテル 大輪田の間 | 各国 代表団 | ○「横浜戦略とその行動指針」の見直しと新たな指針（兵庫戦略（仮称））の策定 ○ヨハネスブルグ会議関連事項の行動計画の策定 |
| 主 要 委 員 会 | 草案委員会 | ISDR | ポ-トピアホテル | 関係者 | ○兵庫戦略等に係る草案作成委員会 |
| | 分 科 会 | アジア地域各国代表 ヨーロッパ地域各国代表 アフリカ地域各国代表 アフリカ地域各国代表 その他地域各国代表 テーマ別関係者代表 (例) 阪神・淡路大震災の検証 | ポ-トピアホテル | 関係国 国連機関 等 | ○地域別、テーマ別の課題に関する協議委員会 * テーマ別の例示（横浜会議の例） ・災害に弱い地域社会 ・災害に強い建築 ・現代社会に及ぼす災害の影響 ・技術災害と自然災害の相互関係 ・持続可能な開発のための防災の経済的側面 ・警報システム ・干ばつへの対応 ○阪神・淡路大震災の検証を踏まえた協議委員会 |

【関連事業】

| | テ-マ等 | 会 場 | 主 催 | 形 式 | 内 容 |
|--------|--|----------|---|------|---|
| 国連関連事業 | 環境と防災 防災教育 コミュニティ防災 経済活動と防災 医療活動と防災 開発と防災 都市防災 | ポ-トピアホテル | UNEP UNESCO、UNU UNCRD 世界銀行 WHO、国際赤十字社 UNDP UN-HABITAT | 登録参加 | ○ シンポジウム、セミナー |
| | ポスターセッション | | 国連機関 関係国 国際機関 国際NGO団体 関係学会 | 登録参加 | ○ 各種団体、個人の研究者による防災に関する最新活動報告、技術研究に関する報告 横浜会議の例 ○ IDNDRによる国際デモンストレーションプロジェクト 27団体 ○ 早期警戒を含む情報システムと技術 72団体 ○ 教育 24団体 ○ 保健 6団体 ○ 社会科学の側面 21団体 ○ 地球科学、工学、建築 86団体 ○ 立法、規制、土地利用 28団体 計 264団体 |

| 国、地元等関連事業 | テ ー マ | 主 要 参 加 機 関 | | | | 参加者等 | 内 容 |
|----------------------------------|--|--|--------------|-----------------------|--------------------------------|---|--|
| | | 国連 | 国 | 関係団体 | 県、市 | | |
| | (基本的な考え方) | <ul style="list-style-type: none"> ○ 阪神・淡路大震災を総合的に検証し、テーマごとにシンポジウムを開催し、今後の災害対策につなげていくため、大震災の経験と教訓を世界に発信する。 ○ 行政関係者、企業関係者はもとより、学会、NGO/NPO、一般県民など、誰もが参画しやすい課題、内容を中心に、開かれた関連事業を展開する。 ○ NGO/NPO等の各種団体については、イベント会場を提供するなど、活動支援を図る。 | | | | | |
| I 国内外への発信 | 1 21世紀に対応した福祉のまちづくり | 国際赤十字社 赤新月社 WHO | 厚生労働省 消防庁 | 日本災害看護学会 社会福祉協議会 | 健康生活部 企画管理部 病院局 神戸市 | 福祉関係者 医療関係者 | ○「こころのケアの推進」「災害救急医療の取り組み」「被災者支援のあり方」等についての基調講演及び国連、国、関係団体、県・市の代表者によるパネルディスカッション等を開催する。 |
| | | (想定関連事業) ○災害医療・看護セミナー ○防災・福祉のまちづくりシンポジウム ○気候変動と健康福祉 ○こころのケア対策の充実 ○災害救助と被災者支援 | | | | | 等 |
| | 2 世界に開かれた、文化豊かな社会づくり | UNESCO UNU | 文部科学省 外務省 | 地域安全学会 JICA | 県民政策部 教育委員会 産業労働部 神戸市 | 教育関係者 防災関係機関 | ○「防災教育の推進」「文化活動の展開」「国際交流・協力の推進」等についての基調講演及び国連、国、関係団体、県・市の代表者によるパネルディスカッション等を開催する。 |
| 3 既存産業が高度化し、次世代産業もたくましく活動する社会づくり | 世界銀行 | 経済産業省 農林水産省 厚生労働省 | 商工会議所 商工会 | 産業労働部 農林水産部 神戸市 | 経済団体関係者 労働団体関係者 | ○「中小企業・地場産業への支援」「雇用対策」「新産業創造」等についての基調講演及び国連、国、関係団体、県・市の代表者によるパネルディスカッション等を開催する。 | |
| | (想定関連事業) ○被災企業対策と産業復興 ○地場産業の防災・復興シンポジウム ○震災と雇用対策セミナー ○商店街復興フォーラム ○企業の立地促進対策 | | | | | 等 | |

| | | | | | | |
|---|---|------------------------------------|--|--|---|---|
| <p>4 災害に強く、安心して暮らせる社会づくり</p> | <p>UNCRD 等</p> | <p>内閣府 消防庁 国土交通省 等</p> | <p>全日本ボラン ティアネットワーク CODE 等</p> | <p>企画管理部 県土整備部 総括部 神戸市 等</p> | <p>自主防災組 織関係者 ボランティ ア関係者等</p> | <p>○「自主防災組織の活動支援」「広域的な防災体制の取り組みの推進」「防災ボラン ティアへの支援」「耐震化の促進」等についての基調講演及び国連、国、関係団 体、県・市の代表者によるパネルディスカッション等を開催する。</p> |
| <p>(想定関連事業) ○自主防災活動推進シンポジウム ○ハザードマップ作成セミナー ○広域的な消防の応援体制 ○住宅の耐震対策について ○NGO防災フォーラム 等</p> | | | | | | |
| <p>5 多核・ネットワーク型都市圏の形成</p> | <p>UNDP UN-HABI TAT 等</p> | <p>国土交通省 環境省 等</p> | <p>自然災害学 会 日本地震工 学会 等</p> | <p>企画管理部 県土整備部 農林水産部 神戸市 等</p> | <p>災害関係学 会関係者 土木関係者 ライフライン 関係者等</p> | <p>○「復興市街地整備」「循環型社会づくり」「ライフライン整備」「社会基盤整備」 等についての基調講演及び国連、国、関係団体、県・市の代表者によるパネルデ ィスカッション等を開催する。</p> |
| <p>(想定関連事業) ○都市水害対策、洪水、土砂対策の総合的推進シンポジウム ○海岸における高潮、津波対策 ○水道事業における都市災害への対応 ○都市災害のための技術向上セミナー ○大地震に対する構造物の備えの現状と課題 等</p> | | | | | | |
| <p>6 各分野横断的テーマ</p> | <p>関係国連 機関 等</p> | <p>総務省 内閣府 気象庁 等</p> | <p>損保協会、 民間放送連 盟、災害情 報学会 等</p> | <p>企画管理部 総括部 神戸市 等</p> | <p>関係者等</p> | <p>○「復興の推進体制」「復興の法整備」「情報発信」「復興財源」等についての基調 講演及び国連、国、関係団体、県・市の代表者によるパネルディスカッション等 を開催する。</p> |
| <p>(想定関連事業) ○災害情報の共有化の促進 ○防災科学の研究成果の発信 ○比較防災学シンポジウム ○災害復興制度セミナー ○復興推進体制の充実フォーラム 等</p> | | | | | | |
| <p>7 その他</p> | <p>○スタディツアー ・人と防災未来センター、野島断層保存館、三木震災記念公園（Eディフェンス）、神戸港震災メモリアルパーク 等</p> <p>○防災フェア ・阪神・淡路大震災復興の歩み展、国・県・市町・企業等の防災対策、国際防災・人道支援協議会の活動 等</p> | | | | | |

| | 事業名称等 | 機関名 | 会場 | 形式 | 内容 |
|-------------|------------------------------|----------|-------------------|------------|--|
| II 交流の促進 | NGO/NPO支援センター | 推進協力委員会 | 神戸国際展示場 | 登録参加 | ○ NGO/NPOの活動をサポートするため、支援センターを設置する。 【センターの主な役割】 ・ 活動紹介、活動発表の場の提供 ・ 活動交流の促進 ・ 総合的な情報提供 |
| | 総合防災フェア | 推進協力委員会 | 神戸国際展示場 | 一般参加 | 【展示コーナー】 ○ 防災の歴史・文化展 ○ 阪神・淡路大震災復興の歩み ○ 国連機関の紹介 ○ 企業防災の取り組み ○ 国際防災教育展 【実演、体験コーナー】 ○ レスキューロボット展 ○ 消防車、起震車、災害対応車両等の展示、体験コーナー ○ 炊き出し、非常食展示 【交流コーナー】 ○ ふれあいステージの設置運営 |
| | 政府主催歓迎レセプション 地元主催歓迎レセプション | 政府 地元 | 神戸市内ホテル | 登録参加 | ○ 国連会議に参画している、各国代表団、国際機関出席者、国連関係職員、政府関係者、地元行政関係者、防災関係機関出席者、NGO/NPO団体代表者、被災地代表住民等が一堂に会し、情報交換することにより広く交流の促進を図る。 参加予定者：約1,200人 横浜会議の場合 政府主催 ヨコハマグランド インターコンチネンタルホテル 地元主催 パシフィコ 横浜 |
| III ホスピタリティ | 日本文化紹介 | 推進協力委員会 | ポルトピアホテル 国際会議場 | 各国代表団及び随行者 | *下記のような内容を実演、参加型イベントとして開催する。 ○ 邦楽鑑賞会 ○ 人形浄瑠璃鑑賞会 ○ 生け花・盆栽展示会 ○ 抹茶サービス ○ 折り紙実演 ○ 伝統的工芸品「播州毛鉤」制作実演 ○ 同 「播州算盤」制作実演 等 ○ 先端技術紹介（播磨科学公園都市、県内先端企業技術 等） |
| | エクスカージョン | 推進協力委員会 | ケース 1 | 各国代表団及び随行者 | ○ 姫路城を中心としたバスツアー ・ 姫路城(好古園～天守閣登城)～書写山円教寺 |
| | | | ケース 2 | | ○ 淡路島、明石架橋大橋を中心とした船上ツアー ・ 中突堤～神戸港内～明石海峡大橋～交流の翼港～野島断層～明石海峡公園～夢舞台(茶室) |
| | | | ケース 3 | | ○ 県外観光地を中心としたバスツアー ・ 京都市内観光 |
| | | | ケース 4 | | ○ スキー体験ツアー ・ 六甲山人工スキー場～神戸フルツツパ～有馬温泉 |

| | | | | |
|-----------------|---------------------|-----------------------------|-------------|---|
| <p>同伴者プログラム</p> | <p>推進協力 委員会</p> | <p>ケース 1</p> | <p>登録参加</p> | <p>○ 各国代表団の婦人等同伴者のためのツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西宮酒造メーカー記念館～酒蔵散策 ・ホール・オブ・ホールズ (オールド・ホール館)～北野工房のまち～市内ジョギング ・神戸ハーバーランド ・神戸旧居留地 |
| | | <p>ケース 2</p> <p>ポーターホテル</p> | | <p>○ 日本文化体験コーナーを設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・折り紙教室 ・書道教室 ・生け花教室 ・城崎麦藁細工によるポストカードづくり ・丹波立杭焼の絵付け |

9 国連防災世界会議推進協力委員会名簿

平成16年4月8日現在
(敬称略、五十音順)

1 委員

| 氏名 | 職名 |
|------------|--------------------------------|
| ダニエル・アヴィオラ | 関西総領事団団長(スイス総領事館総領事) |
| 浅野 寿夫 | 独立行政法人国際協力機構兵庫国際センター所長 |
| 足立 敏之 | 国土交通省近畿地方整備局企画部長 |
| 市村 允正 | 兵庫県立高等学校長協会会長(県立長田高等学校長) |
| 伊藤 康一 | 外務省総合外交政策局国際社会協力部地球環境課長 |
| 伊藤 滋 | 財団法人都市防災研究所会長 |
| 稲垣 嗣夫 | 神戸新聞株式会社代表取締役社長 |
| 太田 敏郎 | 兵庫県商工会議所連合会会頭代行、神戸商工会議所会頭代行 |
| 岡崎 健二 | 国際連合地域開発センター防災計画兵庫事務所長 |
| 奥田 眞 | 社団法人ひょうごツーリズム協会副会長 |
| 梶本日出夫 | 神戸市助役 |
| 河田 恵昭 | 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長 |
| 北野美智子 | 兵庫県連合婦人会会長 |
| 黒田 裕子 | 特定非営利活動法人しみん基金・こうべ理事長 |
| 小出 二郎 | 西宮市助役 |
| 黄 耀庭 | 神戸華僑総会会長 |
| 小澤 修一 | 兵庫県災害医療センター長 |
| 小林 郁雄 | 株式会社コー・プラン代表 |
| 小森 星児 | ひょうごボランティアプラザ所長 |
| 齋藤 富雄 | 兵庫県副知事 |
| テリエ・スカブダル | 国際連合人道問題調整事務所神戸代表 |
| 下村 治生 | 社団法人神戸青年会議所理事長 |
| 角田 嘉宏 | 社団法人神戸経済同友会代表幹事 |
| 芹田健太郎 | 海外災害援助市民センター代表 |
| 田中 稔昭 | 特定非営利活動法人日本災害救援ボランティアネットワーク理事長 |
| 辻 寛 | 社会福祉法人兵庫県社会福祉協議会会長 |
| 土谷 正男 | 兵庫県商工会連合会会長 |
| 徳岡 研三 | 西日本旅客鉄道株式会社代表取締役専務取締役 |
| 中島 克元 | 神戸まちづくり協議会連絡会事務局長 |
| 新野幸次郎 | 財団法人神戸都市問題研究所理事長 |
| 西川 智 | アジア防災センター所長 |
| 西野 正矩 | 財団法人兵庫県芸術文化協会理事長 |
| 野尻 武敏 | 財団法人21世紀ヒューマンケア研究機構理事長 |
| 橋本 倫行 | 関西電力株式会社常務取締役 |
| 林 春男 | 京都大学防災研究所巨大災害研究センター教授 |

| 氏 名 | 職 名 |
|-------|--------------------------------|
| 速水順一郎 | 社団法人兵庫県こども会連合会常務理事兼事務局長 |
| 原 克彦 | 内閣府参事官（災害予防・広報・国際防災推進担当） |
| 原口 洋一 | 日本放送協会神戸放送局長 |
| 東原 紘道 | 独立行政法人防災科学技術研究所地震防災7071研究センター長 |
| 北条 勝利 | 日本労働組合総連合会兵庫県連合会会長 |
| 松村 雄次 | 大阪ガス株式会社取締役副社長 |
| 溝上 孝夫 | 北淡町助役 |
| 南 裕子 | 兵庫県立大学副学長 |
| 宮内 明彌 | 生活協同組合コープこうべ専務理事 |
| 村井 雅清 | 被災地NGO協働センター代表 |
| 室崎 益輝 | 独立行政法人消防研究所理事長 |
| 結城 淳一 | 西日本電信電話株式会社代表取締役副社長 |

2 監事

| 氏 名 | 職 名 |
|-------|-----------------------------|
| 五百歳俊彦 | 兵庫県出納長 |
| 宮道 博 | 兵庫県商工会議所連合会専務理事、神戸商工会議所専務理事 |

3 顧問

| 氏 名 | 職 名 |
|-------|-----------|
| 井戸 敏三 | 兵庫県知事 |
| 矢田 立郎 | 神戸市長 |
| 白井 文 | 尼崎市長 |
| 山田 知 | 西宮市長 |
| 山中 健 | 芦屋市長 |
| 松下 勉 | 伊丹市長 |
| 渡部 完 | 宝塚市長 |
| 柴生 進 | 川西市長 |
| 北口 寛人 | 明石市長 |
| 加古 房夫 | 三木市長 |
| 中川 啓一 | 洲本市長 |
| 真田 保男 | 猪名川町長 |
| 柏木和三郎 | 津名町長 |
| 今津 浩 | 淡路町長 |
| 井高 孝一 | 北淡町長 |
| 上田 弘 | 一宮町長（津名郡） |
| 来馬 章雄 | 五色町長 |
| 金山 和永 | 緑町長 |
| 長江 和幸 | 西淡町長 |
| 中田 勝久 | 三原町長 |
| 森 紘一 | 南淡町 |